

平成31年度（令和元年度）部局経営目標（達成状況）

年度	平成31年度	作成日	令和2年3月31日		
部局名	建設部	部局長名	宮本 隆志		
(1) 部局の役割・使命（ミッション）・経営方針					
<p>■ 中心市街地の形成と景観に配慮した持続可能なまちづくりと真庭ならではの住まいづくりを進めます。</p> <p>・都市機能が集約した中心市街地と多様性のある地域拠点の形成により、持続可能なまちづくりを進めます。</p> <p>・誰もが住みたい、住み続けたいと思う真庭ならではの住まいづくりを進めます。</p> <p>■ 社会資本整備の基盤である国土調査の真庭市全域の早期完了を目指します。</p> <p>■ 安全・安心なまちづくりを推進します。</p> <p>・橋梁・トンネル等道路重要構造物の長寿命化を図り、安全・安心な道路づくりを進めます。</p> <p>・舗装長寿命化修繕計画を基本に、安全で円滑な交通の確保と効率的な維持修繕を進めます。</p> <p>■ 快適な住環境整備を推進します。</p> <p>・安全安心な水の安定供給を図り、財政健全化に向けた事業を進めます。</p> <p>・中長期的な視点に立った収支計画に基づき、下水道の整備及び加入推進を進めます。</p>					
(2) 事業成果目標		指標名及び目標値			
<p>● 真庭に合致したまちづくりの計画となるよう関係課と連携して検討していく。中心市街地の役割と地域を支えるまちのかたちを示し、旭川を軸としたまちとして持続可能な都市の形成を目指していく。</p> <p>● 平成30年度の成果では都市計画の観点から真庭のまちづくりを検討した。これを関係課（課長や担当者）と共に議論しながら必要な施策の検討と共有を進め、まにわらしいまちづくりの方向性をまとめます。</p>		指標: 関係課との庁内検討			
		目標値	実績値	評価	次年度への課題
		課長級及びWGでの検討会計8回	課長級及びWGでの検討会計1回	千年確率による浸水想定区域の見直しなど、災害に強いまちづくりが求められていることを踏まえ、まちづくりの方向性を再検討する必要がある。	真庭市総合計画の改定及び災害に強いまちづくり、共生社会構築等に関する事項を踏まえ、真庭市都市計画マスタープランを改定する。
<p>市営住宅の管理の在り方について、民間委託等を導入した場合の事業効果の検討をしていきます。</p> <p>また、耐用年数を経過した市営住宅が多数存在しており、入居者の状況等を勘案し、将来的な方向性の検討をしていきます。</p>		指標: 方向性の決定			
		目標値	実績値	評価	次年度への課題
		令和2年3月	-	老朽化した市営住宅修繕や取壊しは随時行っているが、耐用年数を経過した多数の市営住宅の効率的かつ円滑な更新を総合的観点から行っていく必要がある。	真庭市総合計画や真庭市都市計画マスタープラン等上位関連計画との整合を図りながら、真庭市営住宅整備計画の改定を行う。

<p>●国土調査中の5地区の早期完了を目指し、補助金を最大限活用して、目標面積2.19km²を完全実施することにより進捗率の向上を図ります。</p> <p>また、今後実施する勝山・落合地区の市街地区域の調査に先立ち、平成31年度に勝山地区市街地区域0.30km²の調査実施により、面積当たり事業費が増加し前年に比べ調査面積の減少になりますが、事業工程等の検証により後年の調査に備えます。</p>	指標：現地調査面積			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	2.19km ² (全体進捗率95.65%)	1.99km ² (全体進捗率95.62%)	勝山地区が計画変更により調査面積0.30km ² から0.10km ² に減少したが、変更後の調査予定面積は実施することが出来た。	市街地は筆数も多く相続人調査等に相当の時間を要し計画変更が生じたので、早めに事前準備に取り掛かる必要がある。
<p>●平成30年度作成の舗装長寿命化修繕計画により、3指標測定路線数・137路線、内1級市道98路線、2級一部その他路線39路線において、3指標測定路線内、ひび割れ率40%以上の区間を含む55路線で、平成31年度～令和3年度において舗装修繕を行う。</p>	指標：舗装長寿命化修繕			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	22路線	20路線 (91%)	幹線及び交通量の多い市道について特に損傷の激しい区間を抽出し、集中的に修繕を行うことができたが、修繕延長が延びた路線があり、2路線が次年度送りとなった。 公共施設等適正管理推進事業債を活用し、交付税措置を受けることで財政負担を軽減することができた。	計画路線について損傷度の高い区間の修繕に目途が付けられるよう、振興局間の予算調整を綿密に行う必要がある。
<p>●市道における橋梁の長寿命化のため、橋梁点検を計画的に実施します。また、過年の点検に基づき緊急性の高い橋梁から順に修繕を行っていきます。</p> <p>また、鋼橋については、環境省及び経済産業省通達により、橋梁塗装内に含まれるPCB及び鉛等の含有調査を行うもの。</p>	指標：橋梁点検・修繕・調査			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	点検205・修繕3橋・調査10橋	点検211 修繕3橋 調査23橋 (100%)	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検において、点検数を増やし事業の進捗率を高めた。 修繕工事では目標数の早期発注に努めることが出来た。 橋梁の塗膜調査において、早期発注契約により調査数を増やし事業推進に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検の常用化により適正な管理と計画を構築していく必要がある。 修繕工事において必要な措置を確実に進めていく必要がある（小規模工事も含む）

<p>●岡山道全線4車線化の推進のため、各振興局と連携しイベント等で市民に向けてPR活動を展開します。</p>	指標：PR活動			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	5回	<p>・PR活動 5回 (100%)</p>	<p>・海の市・山の市、津山工業高校現場見学会、高梁SA、有漢トンネル工事見学会、北房ぶり市のイベント時において、岡山道利用促進のためのPR活動を行い、全線4車線化に向けて市民の機運を高めた。</p>	<p>・引き続き、早期の全線4車線化に向けて、関係市町と連携しイベント等において利用促進につながるようPR活動を行う必要がある。</p>
<p>●老朽管の改良事業を行い、断水などの水道事故を低減します。 老朽管更新工事を経済的に安価で耐震性のあるポリエチレン管又はGX管で実施します。 ・勝山簡水月田地区 口径φ150 延長L=50m（JR踏切推進工事 2か所）</p>	指標：更新延長			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	L=50m	<p>推進工法 L=51m 100%</p>	<p>計画どおりに施工できた。実施において土質が良好であったため、工事費が安価にできた。</p>	<p>早期改良工事の実施。</p>
<p>●久世配水池の早期供用開始を目指します。 ・久世配水池の更新に伴う管路工 上水道久世地区 口径φ250～200 延長L=1,440m</p>	指標：管路新設延長			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	L=1,440m	L=1,666m	<p>新配水池の早期供用開始に向け施工延長を伸ばすことができた。</p>	<p>新配水池の早期完成。</p>

●経営の効率化を進めるため、公共下水道への接続戸数の増加を目指します。	指標：新規接続戸数			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	130戸	146戸	「確約書」に基づき接続推進を行った結果、接続戸数が増加した。	「確約書」に基づくさらなる接続推進
●市設置型浄化槽から個人への譲渡契約を進めます。	指標：譲渡契約戸数			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	70戸	82戸	本年4月に譲渡を行う契約は概ね終了。 来年4月に譲渡を行う契約も予定どおり終了。	特になし